

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HQR023-02

会場:303

時間:5月24日 16:45-17:00

氷性堆積物で閉塞された構造的凹地としてのララ湖 –ネパールヒマラヤ最大の湖の成因–

Rara lake, the largest lake in Nepal Himalaya, as a pull-apart lake embanked by glacial till

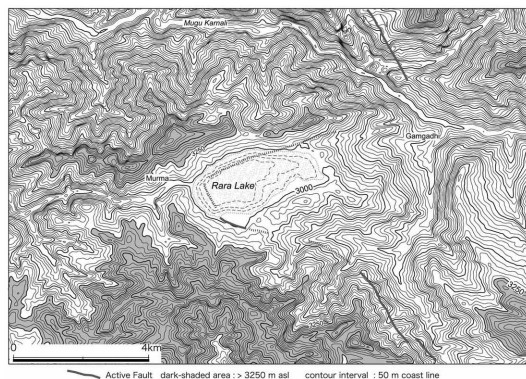
八木 浩司^{1*}, 前杵 英明², 岡村 眞³, 松岡 裕美³, 長田 俊樹⁴, 寺村 裕史⁴, 熊原康博⁵, アディカリ,D.P.⁶, ダンゴル ビシュヌー⁶

HIROSHI YAGI^{1*}, Hideaki Maemoku², Makoto Okamura³, Hiromi Matsuoka³, Toshiki Osada⁴, Hirofumi Teramura⁴, Yasuhiro KUMAHARA⁵, D.P. Adhikari⁶, V. DANGOL⁶

¹ 山形大学地域教育文化学部, ² 広島大学大学院教育学研究科, ³ 高知大学理学部, ⁴ 総合地球環境学研究所, ⁵ 群馬大学教育学部, ⁶ トゥリブヴァン大学トゥリチャンドラ校

¹Fac. Edu., Yamagata University, ²Hiroshima University, ³Kochi University, ⁴R.I.H.N., ⁵Gunma University, ⁶Tri-Chandra Campus, Tribvan Iniversity

ネパール最大の湖であるララ湖について、湖底地形や周辺地形調査を行いその成因を明らかにした。その結果、ララ湖の水深が従来の考えよりもさらに深い168m以上であることが明らかになった。さらにララ湖は東岸を氷河性堆積物によって閉塞されるものの、その西側縁辺を活断層によって限られ、しかもその活断層系が右横ずれ成分を持ちララ湖を節として乗り換えて北方へ続くことから、初成的には横ずれ断層系のステップによって形成された構造的な凹地であると考えられる。



キーワード: ララ湖, ネパール・ヒマラヤ, 氷性堆積物, 閉塞, プルアパート
Keywords: Rara Lake, Nepal Himalaya, glacial till, embankment, pull-apart lake